

海に囲まれた国だから、
水のこともっと知ってほしい。

* 事業推進組織 *



水の事故ZERO運動推進協議会



提携の調印を交わす
アラン・ミューラー専務理事と広渡専務理事

子どもたちが元気で健やかに育つこと。そのために、子どもたちを悲しい水の事故から守ること。その目的を果たすべく、2010年に「Water Safety Japan」を設立いたします。既に、B&G財団は海洋性レクリエーション先進国であるニュージーランドの「Water Safety New Zealand」とも提携。1980年半ばから現在までの活動で、水の事故を約半数にまで減少させてきた活動実績のノウハウを参考に、今後積極的な事業展開と普及に努めてまいります。

* 2009年の活動実施DATA *

いつものプールでカヌー体験「水辺の安全教室」

- 都内小学校など10校で実施
- 参加者総数：363人
- プログラム内容：ライフジャケットやペットボトル浮遊体験、カヌー体験、紙芝居による安全学習など

もっともっと地元の自然が好きになる「水辺の安全教室」

- 全国の海洋センター等83ヵ所で実施
- 参加者総数：3,735人
- プログラム内容：ライフジャケット浮遊体験、ロープワーク、カヌー体験、紙芝居による安全学習など

大都会の真ん中で海と友達になる「お台場海の教室」

- お台場海浜公園で実施
- 参加者総数：280人
- プログラム内容：水の安全学習、岩場の生物観察、サンゴのネックレスづくりなど

B&G 海と緑のふれあい
スポーツ。健康。人づくり。

ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル9F
TEL:03-5521-6740 URL:<http://www.bgf.or.jp>



水の事故ZEROキャンペーン

水と遊び自然を学び

水の事故から子どもたちを守る

全国キャンペーンにご協力ください。



水の事故ZERO運動推進協議会



ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

B&G

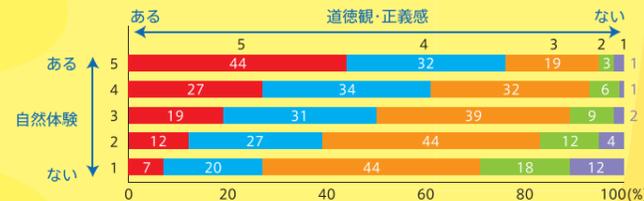
What's 水の事故

自然体験が少ないから 万一のときに 自分の身を守れない。

台風や津波、洪水など水にまつわる自然災害の多い国、日本。そのため、親や教育現場では「海や川は危ないもの」とされ、自然体験の機会は加速度的に失われています。その一方で、自然体験と心の成長の関係が再確認され、自然とふれあう機会を提供することは、国をあげて取り組むべき課題とされるようになりました。この「水の事故ZEROキャンペーン」では、自然体験で道徳観や正義感を育むとともに、水の事故のリスク回避に必要な自己防衛力を養うという2つの目的を柱とした活動を推進していきます。

〈自然体験と道徳観・正義感の関係〉

自然体験の多い小中学生は、道徳観・正義感の身に付いている者が多い傾向にある。したがって、自然体験など青少年の体験活動の推進が必要である。



(注)「自然体験」と「道徳観・正義感」に関する質問への回答を得点化し、各々の子どもの得点を5段階に区分した上で、両得点をクロス集計した。資料：独立行政法人国立青少年教育振興機構「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」報告書平成17年度調査より作成

ZEROキャンペーン?

身近な海の体験から、 楽しさと安全やルールを学ぶ。

「水の事故ZEROキャンペーン」では、海や河川でさまざまな体験型プログラムを開催します。水遊びを通じ、子どもたちの道徳観や正義感を育み、水の事故を防ぐための自己防衛力を養います。

実施場所は、
海・河川・湖沼・プールと
さまざまです。

“考え”“工夫”
“助けあう”体験を通して、
命と自然を学びます。

プログラムには
各自治体の自然環境や
特性が活かされて
います。

日本中の子どもたちに、 海や川と友達になって欲しい。

「水の事故ZEROキャンペーン」の実施には、全国の海洋センター・海洋クラブのB&G指導者1万7千人をはじめ、関係省庁、地方自治体、小・中学校、海事団体、企業やマスコミなど、さまざまな団体のご協力が不可欠です。今後、賛同団体数500団体を目標に、積極的に全国へ普及活動を広げてまいります。

水と遊ぶ楽しさと怖さの体験が、子どもたちの“命”を守る知恵”になる

もっと水と仲良くなろう

～自然体験～

カヌーやヨット、釣りや磯遊び…。各地域の環境にあわせた「水と親しむプログラム」を提供しています。

海や河川、プールなど各自治体の水環境にあわせて、さまざまな水遊びを体験します。子どもたちが自ら考え工夫することで、自然の中で遊ぶことの楽しさや関心を引き出します。

「自然体験」主なプログラム



ヨット体験



カヌー体験



生物観察

他にも、磯遊び、川歩き体験など各地域の水環境を活かしたさまざまなプログラムを用意しています。



兵庫県・上郡町B&G海洋センター 所長 種継 武さん

水に入ることさえもためらう子がたくさんいます。だからこそ、この安全教室の必要性を感じました。

Tシャツに空気を入れると浮くなんて！身近な道具でできる浮遊体験にびっくりしました。

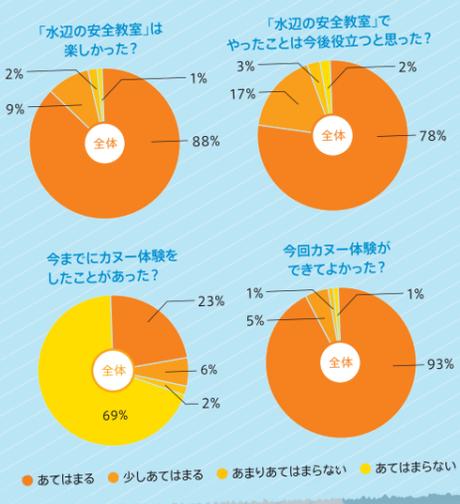


鹿児島県・いちき串木野市立串木野小学校6年 西 雄大くん

プレ活動参加者アンケート

都内など10校、363人の小学生に聞きました！

参加児童全員にアンケートを実施した結果、ほとんどの児童が『楽しかった』『今後、役立つと思う』と答えています。特に、7割の児童が未経験だったカヌーには、98%の児童が『体験できてよかった』と回答。水について学ぶ、よい機会になったと思われます。



水の怖さを体感し

ライフジャケットの着用方法、救出時に役立つロープがーに備えた対処法を学ぶ「水辺の安全プログラム」

台風や豪雨、洪水など災害が多い日本の自然条件もふまえ、水と対処法を学ぶ体験型プログラムです。体験を通じ、子どもたちの「自助意識」や「助け合いの心」を育みます。

「安全教育」主なプログラム



着衣泳



ライフセービング体験

他にも、ロープワーク、パドルの力を体で感じながら学べる安全対策プログラムを多数用意

水辺の安全教室プログラム実施例 ※参加者数や時間、会場によってアレンジします

導入 20分

あいさつ & 健康チェック



このイベントの目的を子どもたちに伝えます

準備体操



安全に活動するため準備体操は念入りに

ライフジャケット着用



ライフジャケットの正しい着用方法を説明します

パディ確認



安全や人数を確認し合う仲間(パディ)を決めます

パドル練習



カヌーで使用するパドルの使い方を学びます

落水時の対処方法



カヌーから落水したときの安全な対処法を練習します

実践 60~120分

カヌー体験



パディと安全を確認し合いながらカヌー体験をします

紙芝居による安全クイズ



紙芝居で水辺での安全について学びます



知恵”になる。

「水の事故ZEROキャンペーン」では、水に親しむための「自然体験」と、水の事故を防ぐ知識と技術を学ぶための「安全教育」という2つのポイントに配慮した体験プログラムを提供しています。ここでは2009年に都内小学校や全国の海洋センターで開催しました「水辺の安全教室」を例に、プログラム内容をご紹介します。

さを体感しよう

～安全教育～

法、救出時に役立つロープの結び方など、を学ぶ「水辺の安全プログラム」を提供しています。

多い日本の自然条件もふまえ、水の事故の現状ラムです。体験を通じ、子どもたちの命を守るを育みます。



ライフジャケット浮遊

他にも、ロープワーク、パディシステムなど水の力を体感しながら学べる安全対策プログラムを多数用意しています。

ロープワーク体験

都会の真ん中でカヌー体験ができる洗練されたプログラムに大満足しています。海上保安庁の方から直接ご指導いただける点にも感激しました。



東京都・江戸川区立南篠崎小学校 梅澤 文彦 校長



東京都・江東区立八名川小学校 小山 正見 校長



東京都・杉並区立和田小学校 福田 晴一 校長

進行の一つひとつの手順に安全への配慮が行きとどいており、子どもたちの反応もよく、百点満点の教室でした。ぜひ来年も実施していただきたいですね。

あの子どもたちの笑顔に勝るものはありません。子どもたちといっしょに参加した大人からも、有意義な時間が過ごせたとお礼の言葉が届いています。

大都会の真ん中で海と友達になる。

2009年7月には「お台場海の教室」も開催!

自然の中で遊ぶことの少ない都会の子どもたちが、海や川など水の事故について学ぶイベントです。お台場の海に親しみながら、夏の日をたっぷり満喫していました。



紙芝居による安全クイズ



紙芝居で水辺での安全について学びます

ロープワーク体験



救助時に役立つロープの結び方を実践します

ペットボトル浮遊体験



身近なものを使って浮遊体験を行います

ライフジャケット浮遊体験



ライフジャケットの安全性を体感します

ふりかえり 5分

まとめ&あいさつ



今日学んだことを最後に復習します

子どもたちを水から遠ざけるだけでは、悲しい水の事故を防ぐことはできません。大切なことは、水の怖さを子どもたち自身が理解していること。「水の事故ZEROキャンペーン」は、海や川と遊び自然を学び、水の事故から子どもたちを守るための活動です。

子どもたちの元気で明るい未来のために。

「水の事故ZEROキャンペーン」への

ご賛同・ご協力をよろしくお願いいたします。

